

# 第14回 チョウ類の保全を考える集い ご案内

多くの野生生物が絶滅の危機にある中、チョウ類でも多くの種が絶滅寸前の状況となっています。チョウや生物多様性の現状や保全について考えるイベント、「チョウ類の保全を考える集い」を、下記の要領で開催します。

今年も各分野からさまざまな内容を取り上げています。アリの巣に幼虫が入って生活するゴマシジミの生態の最新情報や、風力発電や太陽光発電による野生生物への影響、ヒアリの日本への侵入と対策の現状などです。最後に、深刻なチョウの保全現場の話題をご提供いただき、各地で減少が進むチョウにどのように対応していくべきかを、皆さんとともに考えたいと思います。

どなたでも参加できますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



日時：2018年2月3日（土） 10:30～17:30

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 研修室 309

主催：特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会

## プログラム：

裏面をご覧ください。

## 参加申し込み：

参加費：1,000円

関心のある方は、どなたでもご参加できます。

参加する際、事前の申し込みは必要ありません。当日会場にお越しください。

終了後、18:00から同施設内のレストラン（カフェ・フレンズ センター棟2F）にて懇親会を開催します（会費3,500円）。懇親会に参加を希望される方は、必ず1月31日までに事前のお申し込みをお願いいたします。

申込み先：裏面のお問い合わせ先まで

## 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL03-3469-2525

本イベントは、センター棟3階の研修室309です。



## プログラム：

- 10:30 ～ 開会 (10:00 ～受付開始)
- 10:45 ～ 11:30 **アリの巣で暮らすチョウ～ゴマシジミ類の不思議な暮らし～**  
坂本洋典氏 (早稲田大学理工学術院)
- 11:30 ～ 11:50 **ゴマシジミの保全活動の難しさ**  
中村康弘氏 (日本チョウ類保全協会)
- 11:50 ～ 13:00 休憩 (昼食)
- 13:00 ～ 14:30 **風力発電・太陽光発電による野生生物への影響**  
「風力発電による鳥への影響」  
長船裕紀氏 (猛禽類保護センター)  
「太陽光発電による環境変化の実態」  
永幡嘉之氏 (日本チョウ類保全協会事務局)  
「太陽光発電による水生昆虫への影響」  
西原昇吾氏 (中央大学理工学部)
- 14:30 ～ 15:00 **ヒアリの侵入とその後**  
岸本年郎氏 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)
- 15:00 ～ 15:30 休憩 (協会ボランティア説明会)
- 15:30 ～ 17:30 **これからのチョウ類の保全を考える**  
「広島県のヒョウモンモドキ保全活動の現状と課題」  
岩見潤治氏 (ヒョウモンモドキ保護の会)  
「各地で起こる緊急事態への対応」  
中村康弘氏 (日本チョウ類保全協会事務局)  
「日本チョウ類保全協会による、絶滅危惧種の保全活動」  
日本チョウ類保全協会事務局
- 17:30 閉会  
(懇親会：18:00 ～ 20:00 同施設内のレストラン「カフェ・フレンズ」)

## お問い合わせ先

\*\*\*\*\*

特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会

140-0014 東京都品川区大井 4-1-5-201 TEL・FAX：03-3775-7006 TEL 携帯：080-5127-1696

Email：jbcsc@japan-inter.net

URL：http://japan-inter.net/jbcsc/

\*\*\*\*\*